

町に元気を。

第3号

令和2年8月発行

発行:牛山もとき後援会 発行責任者:中島幸孝

〒399-0214 富士見町落合 9984-209

TEL:090-5443-1243

富士見町議会議員

# 牛山もとき

やる気、元気、もとき!の活動だより

みなさんこんにちは。町議会議員牛山基樹です。

新型コロナウイルス、令和2年7月豪雨災害、大変なことが起こってしまいました。

お亡くなりになられた方に哀悼の意をお伝えするとともに、

罹患、罹災した方々に心よりのお見舞いを申し上げます。

日常生活を取り戻すべく、一生懸命にご尽力いただいている

すべての町民の皆様に、衷心より感謝と敬意を申し上げます。

議員として町民の安心安全な暮らしを第一に考え、一緒に頑張ります。

長期戦が予想される中ですが、新しい元気を生み出すことに繋がられるよう、

町民生活に関心を持ち続け実践していきます。



## ◎地方創生が叫ばれている中で、元気な富士見町を創るには…

新型コロナ感染は人々の生活様式まで変えてしまいました。正常化にはまだ時間がかかります。そんな中で人口の過度な東京圏一極集中は、感染拡大のリスクを高めるという教訓から、地方での暮らしが改めて見直されています。この現象を町のチャンスととらえ、多様な働き方や学び方のアプローチに知恵を出し合う時です。選ばれる町として富士見町が輝くカギは、富士見町の特色を活かし、どうしたら他の地域との違いにおいて優位に立てるか、もしくは特色を出せるのか、という明確なターゲット思考の下で、『富士見町でなければならない目的づくり』がこれからの移住政策にも、地域資源を活かした産業振興にも、行政の戦略にも必要だと考えます。地域の活性化とは、どこでもやっていることに取り組むのではなく、他地域でやっていない、しかし自分たちの地域で出来ることに真剣に取り組み、経済循環を地域内で活性化させるということです。

第2号通信発行(令和2年2月)の後、4回の議会が開催されました。

### 第506回 3月定例議会 [3月5日~17日]

3月議会では令和2年度一般会計予算のほか、補正予算、特別会計予算、事業会計予算について「賛成」。地方創生交付金は町内で循環させるように疑問点は質問し、慎重に採決しました。

### 第508回 7月臨時議会 [7月10日]

国の第2次補正予算を受けた専決補正予算と、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を中心とした補正予算の2議案賛成。経済対策と感染予防対策の両立について質問しました。

### 第507回 6月定例議会 [6月4日~16日]

6月議会では全議案に「賛成」。先の専決補正予算「新型コロナ対策」も含め、民間との協働と効果のある対策について検討しました。

### 第509回 7月臨時議会 [7月20日]

GIGAスクールタブレット型パソコン1143台(財産の取得)についてPCが児童・生徒一人ひとりに、早く、確実に届き、積極的に活用されるよう伝えました。



詳細につきましては、議会だよりもしくは議会事務局のHPをご覧ください。

◀コチラのQRコードから確認できます。

牛山基樹 facebook  
QRコードはこちらから▶





## やる気、元気、もとき!の活動だより

議会会議録はコチラの  
QRコードから確認できます

## 【一般質問】1期2年目の視点「遠」「近」

一般質問の中心は **ズバリ** ①未来へ向けての町の戦略、②身近な町の課題 です。  
SDGs、誰一人取り残さない持続可能な社会の構築が質問の骨格にあります。  
※詳細は、議会だより162号、163号、「町の考えを問う」を是非ともお読みいただきたいと思います。

## 令和2年度 3月議会

## 質問1 第2期まち・ひと・しごと創生戦略にみる、20年後人口減少社会の中で活力を見出す富士見町の産業の姿について

持続可能な社会は地域ならではの産業を、**地域の足元に力強く落とし根付かせること**です。  
例えば、町内の再生可能エネルギーを集め「地域新電力」として、富士見町内で大いに活用することもその一つですよね。



## 質問2 新型コロナウイルスの町内経済への対策について

町内事業者の経営維持の為に、いち早く打てる対策、柔軟な制度資金拡充など、**スピード感を持った大胆な初期対応**こそが大切だと考えました。

## 令和2年度 6月議会

## 質問1 リニア中央新幹線開通2027年に町はどう備えるのか

県境の地の利を生かし、山梨新駅までの直通シャトルバスなどを整備して、新しいチャンネルから活力を探るには、もうあまり時間はありません。開通してから準備するのではなく、**『備えと戦略』**が将来の町の優位性を作ります。

## 質問2 都市計画マスタープラン、立地適正化計画の都市ゾーンの未来像について

「都市計画マスタープラン、立地適正化計画の都市ゾーンの未来像について」産業振興のために使える土地はわずか。その**限られた土地をどれだけ活用出来るのか**で町の活力は決まってしまう。

## 【その他の主な活動】町民と心を一つに、切れ目なく迅速に

## “ コロナ禍に立ち向かう ”

町民のみなさんと、町の事業者の方々と、商工会と、行政の力を合わせて、スピード感をもって地域経済を支え、日々の暮らしを維持するために活動してきました。新型コロナ対策の地方創生交付金を、子育て支援、感染防止対策など、柔軟に切れ目のない支援になるように、町民の声を届けました。

## “ 地域おこし・地方創生活動 ”

地域の方々との協働を大切に、積極的に動いています。  
「裸の王様」になってはいけません。権力を持ち、力を使える立場になればなる程、謙虚に耳を傾ける。  
その人の身になることを聴くことで、はじめて見えてくるのだと思います。



## 他の議員の皆様と一緒に取り組んでいます。

議会広報編集委員長として  
「議会だより」の対話型広報を目指し  
新しい編集に携わっています。

議会改革実行委員長として、  
「わかりやすい、町民参加型の議会」へと  
議会基本条例の具体化に、新しい提案をしています。

総務経済副委員長として、  
積極的に職責を務めています。

9月3日より9月定例会が始まります。一般質問は9日、10日 9時からの開始になります。(予定)  
健全な町の発展には、町民の町政への関心が必要です。議会の傍聴にご参加ください。

皆さんの「困った」を自分ごとに…  
ご意見ご要望をお気軽にお寄せ下さい!!

FAX ▶ 0266-62-7434

メール ▶ gzr01224@gmail.com

